

授業科目名	少子高齢時代とコミュニティ	単位数	2
担当教員名	山口 道宏	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
<p>「学位授与の方針」との関係 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>(1) 我が国の少子高齢化の現状と特徴を福祉の視点から説明できる。 (2) 高齢者の「自立」の条件とはなにか、またコミュニティの役割と機能について関心を高める。 (3) 高齢者の生活問題とニーズ、介護保障、地域福祉の要件について理解する。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>そもそも「少子高齢化」の何が問題でしょうか!? 我が国の少子高齢化の過程と現状、課題について整理するとともに、家族・世帯の変容、さらに地域との関係性を学ぶなかで、地域福祉の施策を検討する。とくに孤独死、孤立死が頻発する昨今に福祉はなにをすべきか、なにができるか。地域の中で「孤立しない」「孤立させない」とはどうすることなのか? 数々の事例を通して考究する。 いわゆる「人口論」とどまらず、むしろ現実の生活問題とニーズの検証作業から、少子高齢化と地域福祉の有り様について検討し、提言に至る。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：我が国の少子高齢化の現状と課題 ① 第2回：我が国の少子高齢化の現状と課題 ② 第3回：家族・世帯の変容 第4回：世帯と個人と地域と 第5回：高齢者の生活問題とニーズ 第6回：少子高齢社会と社会保障 ① 第7回：少子高齢社会と社会保障 ② 第8回：所得保障、社会参加、いきがい 第9回：地域社会と福祉サービス 第10回：「介護保険」とケア 第11回：少子高齢化と行政・自治体 第12回：介護ガバナンスと福祉レジーム 第13回：ケアの連携と協同 第14回：福祉コミュニティと権利擁護 第15回：少子高齢化とコミュニティ</p> <p>定期試験</p>			
<p>スクーリングでの学修内容</p> <p>第1回から第15回のすべてを行う。</p>			

テキスト

(1) 直井 道子・中野 いく子・和気 純子 (編) 『高齢者福祉の世界 補訂版』有斐閣
2014年 ISBNコード 9784641220256

参考書・参考資料等

- (1) 星槎大学共同研究プロジェクト2019「孤立しない」「孤立させない」
※学生ポータルサイトよりダウンロード・閲覧可
 - (2) 香山 リカ 『老後がこわい』講談社現代新書 2006年
 - (3) 山口 道宏 (編著) 『無縁介護』現代書館 2012年
 - (4) 山口 道宏 (編著) 『介護漂流』現代書館 2016年
 - (5) 『共生科学概説(1)』 星槎大学出版局 2019年
 - (6) 宮本 みち子 『若者が無縁化する』ちくま新書 2012年
 - (7) 春日 キスヨ 『変わる家族と介護』講談社現代新書 2010年
 - (7) 岩間 伸之・原田 正樹著 『地域福祉援助をつかむ』有斐閣2012年
 - (9) 山口 道宏 『ドキュメント ひとりが要介護になるとき。』現代書館 2019年
- 随時紹介と、関係資料を配布する。

学生に対する評価

スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)を総合して評価する。